

## 被災地における番号不明被災自動車の処理の現状確認について

平成24年7月末時点で番号不明被災自動車として申請のない自治体等、3自治体を訪問し、被災自動車の保管場所確認や番号不明被災自動車の台数等に関してヒアリングを行ったので次のとおり概況を報告する。

## 1. 訪問目的

- (1) 今後の台数発生量予測するために必要な基礎情報を収集すること。
- (2) 番号不明被災自動車の申請方法等、スキームの再確認を行うこと。

## 2. 訪問期間

平成24年8月29日～31日(3日間)

## 3. 訪問結果

## (1) 被災自動車の台数等

(単位:千台)

自治体	A市	B町	C町
被災自動車の台数	約 21.0	約 1.6	約 1.8
番号不明被災自動車	約 2.0	約 0.8	約 0.4
引取業者への 引渡完了見込み	平成 24 年度末	平成 25 年度末	平成 24 年度末

## (2) ヒアリング結果

## 【A市】

- ・一部の被災自動車保管場所は有料で借りているため、早く処理を行い、土地の所有者に返したい。平成24年度末までに引渡完了を目標として頑張っている。

## 【B町】

- ・津波で打ち上げられた被災自動車が山間部に挟まり、回収が困難であったが仮置き場への搬入は完了した。順次解体業者へ引き渡しを行う。

## 【C町】

- ・ガレキの撤去が進んだことにより、有料で借りていた場所から無料の公有地に被災自動車を移すことができた。平成24年度中に引渡しを完了したい。

## 4. 今後の進め方

引き続き、被災自治体に対して番号不明被災自動車のスキーム周知や、自動車リサイクルシステム全般にかかわる問合せ対応等のサポートを行う。

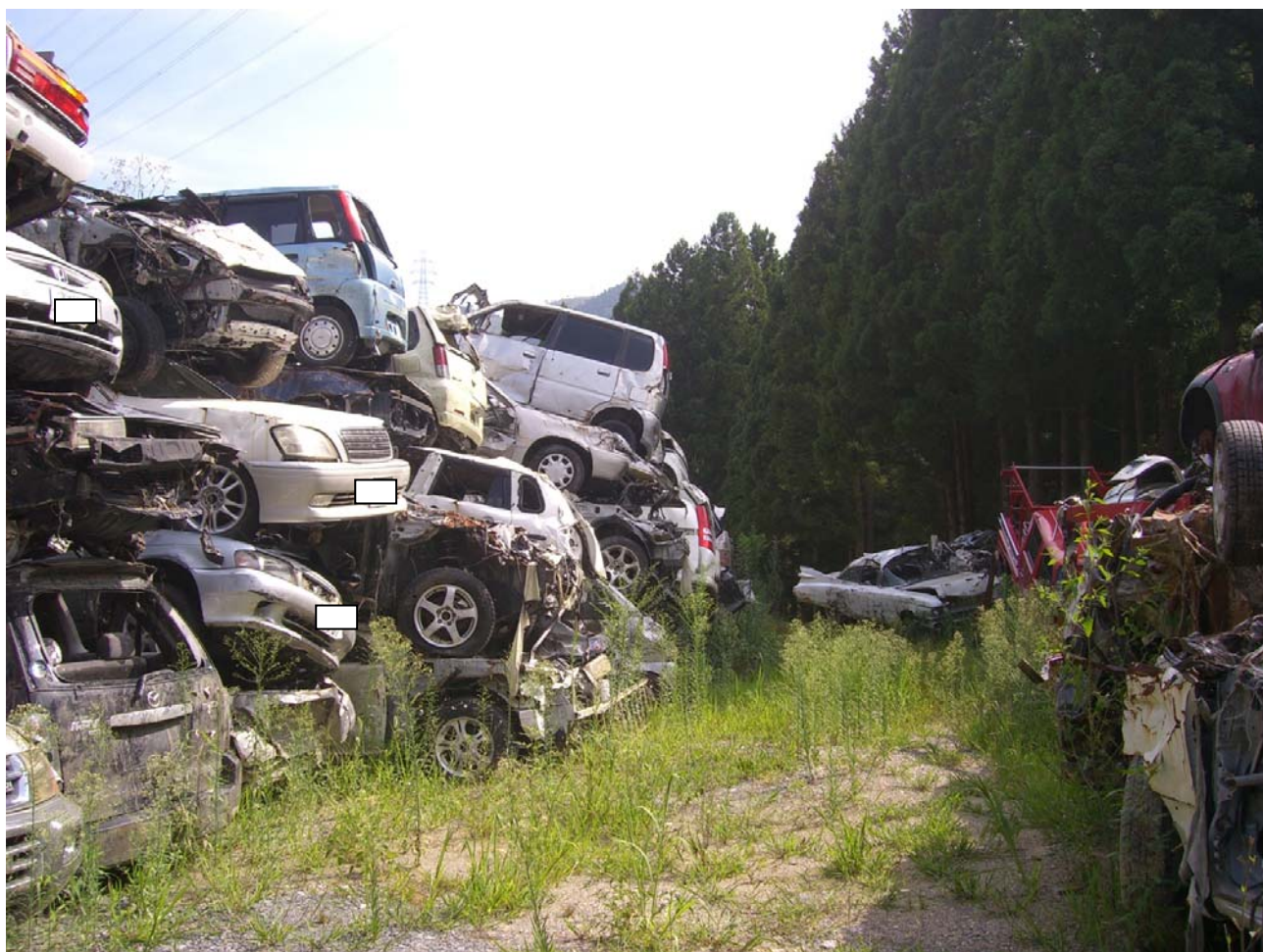
また、12月開催の資金管理業務諮問委員会にて、現状確認を反映した番号不明被災自動車の台数見込みを報告する。

以上

【A市】被災車両置き場



【B町】被災車両置き場



【C町】被災車両置き場

